

## 編集後記

『藤女子大学国文学雑誌』第八十四号をお届けする。

本誌には本学専任教員の論文三本を掲載した。年度末の学務で慌ただしい状況にある中、論考を寄せていただいた先生方に感謝したい。本学科は、大学院を持たないところから、院生や院卒の研究者からの投稿論文は少なく、卒業生からの優秀な論文を掲載することはあるが、研究誌を年に2回、出し続けるには教員自身の研鑽と努力が不可欠となる。やや大袈裟に言えば、日文科の教員は、『国文学雑誌』の執筆から逃れられない運命にある。このことの利点としては、各教員間の互いの研究への関心が深まり、教員同士の研究交流がしやすい環境が生まれるということであろう。もちろん制限枚数に神経質となることもなく、また各号にわたって納得するまでじっくり同じテーマのものを執筆し続けることもできる。さらには実験的な論文をここで発表してみる冒険の場としても機能していよう。昨今の教員の論文掲載数の充実ぶりを見ても、今後とも意欲的な研究発表の場であり続けることであらう。

(H)

二〇一一年三月二十五日 印刷

二〇一一年三月三十日 発行

藤女子大学 国文学雑誌 (第84号)

定価 五〇〇円 送料八〇円

振替 〇二七〇〇一四一六八〇七番

編集人

関 谷 博

発行人

札幌市北区北十六条西 丁目

発行所

藤女子大学日本語・日本文学科学研究室内

藤女子大学日本語・日本文学会

印刷所

札幌市中央区北六条西十五丁目

(株) 491アヴァン 札幌